

研究者の横顔

フリガナ	フクシマ ヒロシ		
お名前	福島 啓司	助成金額	100 万円
ご所属	東京科学大学病院 泌尿器科		
研究テーマ	バイスペシフィック抗体を利用した新規近赤外光線免疫療法の開発		

1：研究者になろうとしたきっかけ

泌尿器科の医師として膀胱癌をはじめとする多くのがんの治療に携わり、現在の標準的ながん治療に限界を感じました。研究者として革新的な新規がん治療法を開発したいと思いました。

2：助成研究の内容紹介

近赤外光線免疫療法はがんを標的とする抗体と光反応性の色素の複合体が近赤外光に反応することにより腫瘍内のがん細胞のみを選択的に死滅させる新しいがん治療法です。本研究では、バイスペシフィック抗体を用いた新しい近赤外光線免疫療法の開発を目指します。

3：2の将来に繋がる結果予想・目標

バイスペシフィック抗体を用いた近赤外光線免疫療法ではこれまでの近赤外光線免疫療法よりも高い治療効果が得られると予想しています。近年様々なバイスペシフィック抗体が開発が進んでおり、臨床応用の可能性も期待できると考えています。

4：全国の RFL 関係者に一言メッセージ

この度は本研究にご支援いただき、感謝いたします。研究助成金は大切に使用させていただきます。研究成果を少しでも多く社会に還元できるように努力いたします。